

館城趾の秋月

— 栄村十景 —

館城は、今を距る七百六五年前、寿永年間、沼尻信秀によつて築かれた砦である。天正二年(三百六十七年前)当時の城主沼尻又五郎(鉄槍と号す)が佐竹軍に降つて落城するまで、その間約三百年——小田氏四十八館の一つとして当地に重きをなした事は疑ひの余地もないが、史記、傳説共に、つまびらかでない事は誠に遺憾である。

東面二百二十尺、南北四百尺の敷地趾約八反七畝程は、現在松林や萱原となつてゐるが、中八十尺深さ二十四尺の空堀は、当時の堅固な構造を物語つてゐる。

西、及南北の三方は林野あり畑地あり、所謂台地続きであるが、東面の眺望は突に大で、眼下に展らけた田圃の中に幾つかの村落が点在し、遙かに土浦の市街地が望まれる。四季の眺め皆それの景趣をなしてゐるが、特に中秋、この高地に登り名月を仰ぐならば、今昔の感交々去来して、物のあわれ又一入胸に沁みて想ひ深きものがある。

目次

表紙 栄村十景—館城趾の秋月	西伯	浦田正夫
題字	農協組合長	久松茂
扉、解説	弘報委員	岩瀬芳一郎
春作栽培について	青年会便り	一五
部落白報	栄村勢の概要	一七
農設ニュース	電話室	一八
学校通信	みんなあつまろ	二〇
生活改善実施要項	昇る朝日	二〇
保健婦だより	平和の鐘	二一
人事消息	四季の栄村	二一
慰霊祭と映画会	そよそよ春風	二二
友未知事夫人	編輯後記	二二

麦作栽培に就て

産業技師 豊島 実



今年の麥作は、比較的豊作の結果を得ましたが、それはどのような所に原因があるかと言ふ事を反省する必要があると思ふ。今年の麥作は前半に於ては、或は平年作を下廻るのではないかとさえ思はれたのである。その後肥培管理の宜ろしきを得ましたのと、成熟期に冷涼な気温が続いたのと、日照時が比較的にかつたので予想以上の増収があつたのではないかと考えられます。こゝう言う状態が来年度も同じ環境に恵まれらねば、或程度迄は克服出来る態勢を整えなければならぬ。それには合理的な栽培方策を樹立して、今年

→(1)←

の麥作の作付に当らなければならぬと思ふ。
第一品種の撰択であるが、如何なる條件にあつても、或程度の絶対収量の維持は必要であり、他に影響の少ない場合は積極的な増収も亦重要である。収量増加

図る品種の撰定としては、イ 現在の収量低く、増加しても他に影響少ない場合、ロ 夏作を麥の刈取後に行つて、経営の重点が麥作にある場合、尚具體的に撰定に當つては、A 熟畑で多肥多収を図る、B 中間地帯の場合、C 輕鬆瘠地にて収量増加を図る場合、等によつて品種は異つてくる。何れの地帯に於ても強稈多収であると共に耐病性に強い特性を持つことが條件である。大麥については、下地(アクト)には竹林種が最適である。台地には穂揃種が比較的適品種である。小麥は下地にては白莢、農林五〇号、農林六九号、少しく晩生ではあるが、農林七〇号等が適してゐると思ふ。台地並砂質には白莢は不適當と思ふ。その他の品種は何れも適品種である。蔬菜の前作用としては大麥の水府岡東皮号等がよろしい。関東皮三号は収量は多いが跡作の關係上不適ではないかと思ふ。要するに栄村としては、跡作に栽培せられる蔬菜のことを考慮して、品種の撰択をしなければならぬと思ふ。例へば、其の畑地が来年度葱作の候補地だとすれば、少し晩生である豊林七〇号等は、品質は良いし収量も比較的多い、此の様な品種を撰択することが

→(2)←

必要である。麥作と夏作との間には種々な点で相剋關係にある。此の關係は麥の収量が低い場合には少なく高くなるに随つて多くなるから、経営の重点を夏作に置くもの、煙草、蔬菜、大豆の早播等を考慮に入れて撰定すべきである。栽培の目的即ち生産されたものをどう処理するかによつて、品種の撰定を考慮しなくてはならない。食糧事情が深刻な条件下にあつては、凡てが量によつて解決されるから、品種の撰定も只、収量の多いもので良かったが、緩和されて来れば販売を目的として質的のものを撰び、量に餘裕が出来てくれれば家畜の導入増加など、経営形態の変化も行はれて来る。何れの品種を撰ぶべきかは収量、夏作關係、労力など合理的な経営と商品化の問題を考慮し、総合収入の増加に基盤を置いて決定すべきである。種子の取扱ひについて、最早徒らに味々を要する迄もなく熟知いたして居るものと思ひますが、塩水撰と麥奴予防の風呂水浸法及水銀剤の消毒は怠らない様にした。

即ち風呂水の温度はC四〇度乃至四五度程度、入浴に一寸熱いかと思はれる位が宜ろしい。かまどの下の火気を絶対にとり除いて、布袋に種子を入れて浸種す

る。蓋は少し隙間を作つて置く。翌朝取出して、水銀剤(ウスフルン)の消毒を行ひ陰干してから播種を行ふ。圃場の整地は、播種前五日一七日前位が良いと思ふ。余り早く整地して置く事は其の間に降雨日が多いと圃場の表面が雨の圧力により非常に固つて来る。その様な状態のまま、播種することは、麥の発芽並に其の後の生育に支障を来すことが多いから、なるべく播種前数日の間に耕起作業を行ふ事が宜ろしいと思ふ。それには労力の分配上支障を生じるから、そこで畜力による耕起作業が必要である。前作の大豆その他を採取後直ちに、カルチベーターにて假耕転作業をなし、耕土を軟かくして置き雑草の発生を防ぎ、適時期に耕起作業を行ふ様にした。播種期は十月二十七日より十一月三日まで位適期である。播種量は反当四升、畦間二尺二寸播巾五寸の條播が適してゐる。肥料は堆肥最少量三〇〇貫を使用すること。施用方法は多量に製造してあれば、耕起の場合犁き込むことも良いが、三〇〇貫程度なら播種時に引き込む方法もよろしい。肥料は堆肥以外に元肥として、反当硫酸五メ、過石七メ、追肥(十二月下旬一月上旬)硫酸三メ、過石

一メか加里ニメ程度が大麥として標準と思ふ。特に本村に於ける麥作については、白麥跡地に対する麥の栽培法の研究である。それに間作として直播法によるものと、白麥採取後に移植による栽培法とがあるが、何れにしても前作と関連した適期を換ふことが肝要である。播種の場合は、麥作としては、一日も早く播種することが望ましいが、白麥を老熟させることになるから十一月十五日から二十日位が良いと思ふ。播種量反当り五升乃至五升五合で芽出し播が良い。それで播種後の管理であるが、白麥採取後直ちに畦間、即ち白麥の生育してゐた部分をカルチベーター或は万能にて耕起して、土壌の風化作用を促し、白麥の残肥を少しも早く分解させ、順調な成熟をなさせることが、跡地栽培の要点である。移植法によるものは苗代の播種を早め、蒔播きして充分なる株張をしたるものを、十二月中旬に植付するものが最善の方策です。其の後の管理としては、跡庄土入等は充分に行ふこと。土入は麥の茎立ちを始めてからがよろしい。今年は畜力による作間作業を一般に徹底する様実施講習会の開催をいたしませう。



部落自慢 (三)

松塚の巻

絶好のスポーツシーンを迎へ東福寺境内に村営グラウンドの新設を見た事は、誠に時宜に適したことであり、関係当局に対し深い敬意を表するものである。このグラウンドに遊ぶもの、先ず其の眼に映するものは、樹へ、或は色褪せ、或は大破したりと言へ、田舎に稀れな本堂と樓門の結構であらうと思ふ。而してこの建築がいつの世に如何なる人の手に依つてなされたものであらうか。春風秋雨年を重ね、今我々の記憶より遠ざかりつゝある時此の機会に其の人を追想して我が部落の誇りとしたいと思ふ。

徳川の中葉と言へば、世は太平になれ、上下挙つて奢侈淫逸に流れ、僧風又墮落の淵に沈んだ時であつた。八代將軍吉宗深くこれを憂へ、嚴呼として奢侈嚴禁の令を下し、庶政の一大革新を断行した。後世史家の所謂享保の治と稱するもの即ちこれである。

4 家康の側近に天海あり、綱吉の大奥に隆光のあつた如く徳川幕府の裏面には常に僧侶の權在して居たことは、見逃し得ない事実であらう。將軍吉宗の信任を厚ふした僧侶は誰であつたか、夫れは當時の護寺院僧正慧海であつた。この慧海こそ東福寺二十世の住持であり、この如蓋の法管をなした人である。

曾正は寛文二年三州吉田(現在の豊橋市)城内に生れた。父は藩主小笠原待從弘秀の重臣山田正則ハヤにして母に別れ九女にして佛門に歸し、十余女にして其の師寛海(東福寺十九世)に隨從して当地に來り二十四女にして錫を豊山(大和長谷寺)に掛け卓玄、英岳亮貞、尊裕、隆慶等の諸名徳に歴來すること三十余年其の間京師に出て、或は儒士野村順盛の門に学び、或は醍醐山僧正定磔の室に入りて其の衣鉢を受け、修法堅固、身を持つること謹嚴、人に接する寛容、洵に一代之碩徳として嶄然豊山に其の重きをなしたのであつた。元禄七年師寛海の後を受け、東福寺の住持となり、正徳三年私賊を投じて本堂を建立し、享保四年二月豊山の命により千葉妙見寺に移り同五年將軍吉宗の台命により江府根生院に移住し、以來常に柳營に伺候し、

た。同九年護国寺を経て同年十一月には護持院に進み翌十年三月梅僧正に勅任、十二年梵鐘を鑄てこれを東福寺に懸け同十五年三月幕命により豊山の主位に坐し小池坊二十一世の、化となつた。中御門天皇、同十六年二月二十日勅して正僧正に任じた。其の年東福寺に新たに樓門を建造し、同十九年九月五日將軍の許可を得て、豊山の主座を僧正慧任に譲り、黑崎興元寺に隱棲、延享二年四月二十九日同寺に於て示寂した。

年八十四、今を去る二百七年前の事である。僧正常に弟子を諭して曰く、「若し人あり我を誹謗することあるも決して其の人に怨讐を遺してはならない。我にしては寛柔慈愍の心を以てこれに傍すれば則ち遂には來つて、真通に歸するであらう」と正に佛陀の真諦に徹したりと言ふべきか、我々もまた僧正の心を心とし、眞の宗教心を涵養して、互に手を取り新生平和日本再建のため努力しようではないか。折しも秋風一陣、松嶺岫として恰も説法度生の声かと疑はれる。



農校ニュース

みのり定期貯金完遂

かねて募集中でした第四回みのり定期貯金は、皆様
の絶大な御協力により、募集目標三〇〇万円を二十％
方突破、三六〇万円と言ふ記録をつくり終了。たしま
した。

米の暫定価格決定

二十六年産米の暫定価格が左記の通り決定しました

粳玄 六〇円 二四〇〇円

粳 四五円 一三〇〇円

但し包装等級の如何に拘らず

白菜菴の製作開始

白菜菴の需給を円滑にするため、岩瀬在住の本職を
八人招き澱粉工場に於て、三万菴を目標に今大菴で作
成致して居ります。

澱粉工場繰業

今年も澱粉加工原料拾万貫を目標に、機械其の他工
場設備等を整理しつゝあります。出来るだけ多く原料

(5)

生甘藷の出荷に御協力下さい。十月下旬より、時価相
場で買入を開始いたします

トマト出荷完了

寧日出荷に追はれたトマトもやつと完了しました。

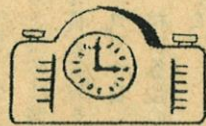
今年は相場の変動による出荷の在り方に、幾多の教訓
を得たことを喜んで居ります。総出荷メ数取扱金額は
左記の通りです。

総出荷メ数 一七一、九八二貫

総売上金額 八、五六〇、三三二円

農校青年連盟連絡協議会生

九月三日県下六五組合の、農校青年連盟盟友五百名
出席盛大裡に結成されました。委員長に那珂郡静村連
盟委員長、秋山信一君、本郡より新治郡連盟委員長、
元木重夫君が委員に選出されました。尚本村委員長、
宮本勝延君は、監事長に選出されました。



学校通信

中学校から

(6)

新学期を迎へて

燈火親しむ候となりました。御家庭の皆様には実り
の秋益々御多忙の事と存じます。

講和も無事に済み明るい明日の日本が約束されました。
。学校に於てもこの秋にあたりまして色々過去を反
省し反省の上になつた計画のゆゑに改善、進歩、創造
に更に拍車をかけ新教育は眞教育であるべく努力して
おります故御家庭の皆様におかれましても一層の御協
力をお願いいたします。

次に反省の一端を挙げて御父兄の参考にいたしたい
と思ひます。

◎九月五日夏休み中の反省会、PTA実行委員会並び
に子供会後援会々長会を開催し次の諸点が明かになり
まりました。

- 一、宿題が八月末になつてから急に取つか、る傾向が
ある。
- 二、勉強会は女性がすぐれていた。
- 三、各子供会の活動は大変活発で例年になくよかつた
- 四、八月中の登校日をもつと多くしたい。
- 五、各父兄の節約により海浜学校参加者を多くしたい。

学芸は悠久にして人生は短かしか、学ばざるべか
らざる学生時代をして更に一段と有効にして合理的な
意義ある時を過ぎて戴きたいと思ひます。

◎九月十日 子供会の歌試聴会々催

村民各位の御協力により大変盛會裡に好評を拍しま
した。

◎九月十一二日 修学旅行の実施

冬しく樂しみの的であつた修学旅行も健康上の理由
以外は全員参加樂しかりし想出の数々と研究意欲
に無事帰校

十月の予定

二日 研究会(郡内)

学校図書館の活用とその利用について

下旬 職業家庭科研究会(郡内)

※講和記念貯蓄運動並に修学旅行積立貯金の奨励を行
つて居りますから御協力をお願い致します。

※学校購買部がPTA構成委員会の御指導で開設致し
ましたから御家庭に於かれますも充分意を下されま
す様お願い致します。尚代金は月末集計の上納金をお
願する計画であります。充分利用の程をお願い致します

小学校から

秋涼の秋、御家庭でも收穫や、種蒔時で多忙の事と存じますが、学校の方も運動、学習共に最も好適の季節ですので、御子様方の指導に全力を傾け、眞に身についた力を養成したいと色々計画を立て、おります。

十月の主な行事としては

一、校外学習 六年……東京横浜方面―十月中旬

五年……水戸日立方面―十月中旬

四年……筑波山――十月下旬

昨年同様右の様な予定で実施いたします。実施に当つては事前に充分目的地的について学習し、單なる見物に終らず有意義に終らせたいと考へております故、具体案は追つて差上げますから御父兄の御協力をお願い致します。

二 運動会

学校側としては学習指導、研究会等とにらみ合せて、十月一五日に予定したのであります。が、御家庭の仕事の都合もあると思ひますので文化祭前に広く皆様の御意見を拝聴した上で早急に決定し、楽しんで盛んな運動会にしたいと考へております。運動会当日は兼備つてお出いたゞき御子様方を御激励下さる様お願致します。

三 学習指導校内研究会
十一月中に、郡内の先生方のおいでを頂き、実験学校としての研究会を催す予定でありますので、十月は学習指導法について充分研鑽を積む考へです。

尚整理された学校図書館の利用についても、工夫研究し御子様方の学習、研究の中心的機能を發揮させたいと考へております。
(應 答 記)

◆牛久沼上下流土地改良期成同盟会生る

昭和廿二年 一市一町七ヶ村によつて計画された水利事業は、色々な關係で絶望の形となつてゐましたが今度新治筑波稻敷土浦の三郡一市を地域とする一大期成同盟が結成されました。計画は元の三倍であり実現すれば日本屈指の国営事業と言はれ、一市一町十六ヶ村で水田三千六百町歩、畑地五百町歩、干拓地四百町歩が恩恵に浴する事になります。栄村として、勿論この期成同盟に参加して居り、極力実現を期すべく地元民としての熱意と協力をお願い致します。

生活改善実施要項

婦人会

趣 旨

永年に亘つて習慣づけられた、生活上の諸事項を改善することは容易なことではない。併し現在の社会並經濟状態から見ると、どうしてこの儘では、日本の復興は覚束ないと思ふ。そこで虚礼冗費を廃し、悪影響ある風俗習慣は改め、迷信を打破し、民主主義に即した合理的な新しい生活様式を樹立し、以て民生の安定を図り、新日本建設に邁進しなければならぬと思ふのである。

第一 公私の会合を問はず時間を励行させよう。

人 司会者は、参会者の立場を考へて時期と時刻揆定をしましう。

2、会合の通知にはお互生活に計畫性を持つたため開会の時刻と用件を明瞭にする外、なるべく門会の三日前日位迄に通知をしましう。

3、参加通知を受けた者は、定刻までに必ず出席しませう。

せう。若し遅刻欠席等の場合は前以つて届出ることに致しませう。

4、司会者は指定の時刻には、たとえ出席者が少くても開会することに致しませう。

第二 冠婚葬祭は、現在の社会並に經濟状態に鑑み

虚礼冗費を廃し、質素にして嚴肅に行ふ様改善しませう。冠婚の改善方法

1、新結婚観の確立。憲法の精神を尊重して新しい結婚観の確立を図りませう。

2、健康診断書の取りかわし。婚約は予め当時者間で医師の健康診断書を取かわして後決定しませう。

3、結納 結納はお金でその額は見栄をばらすに成る可く少額にしましう。

4、調度関係 見栄をばらすに次の基準によりましう
1、式服の新調は見合せ、現在あるもので間に合わせる。

口、調度品はダンス一卓鏡台一基 寝具一組 裁縫用具一式以内で止めること

5 調度品陳列等非文化的なことは絶対やめましう
6 披露祝宴は外見を張らずに次の基準にならませ

せう。

- イ、招待は努めて小範囲に止める事
- ロ、膳部は酒一本肴三品以内とする事
- ハ、お客は二時間以内でお開きとし、新婦者に迷惑をかけないこと。

ニ、引き物は廃止すること、但し正客にはこの限りでない

ホ、祝儀は一般は百円以内とする。

葬儀の改善方法

- 1、供物 生花 花輪の供物をする時は施主又は極く近親者において、一對若しくは一基に止めること
 - 但し公共団体等から贈られる場合は別とする。
 - 2、葬儀式の手伝は必要の最小限度に止めること。
 - 3、葬具等は共同備付のものを利用すること。
 - 4、膳部は努めて質素とし小範囲に出すこと。
 - 5、香尊は一般の者は百円以内とする事。
 - 6、引物(香尊返し)は全廃すること。
 - 7、その他貼り出し等非文化的なことはやめること。
- 祭礼等の改善方法。祭礼その他これに数する行事はなるべく簡素にいたしましょう。

第三 その他諸種の御見舞等も、外見を張らずに次の基準にまじりましょう。

- 1、出生祝、正月祝(羽子板破ま) 節句の祝等は廃止するか又極めて簡単にすること。
- 2、七五三の祝は特に質素にし晴着は通学に適するものとすること。

3、新盆の供物は簡素にする事

4、病氣、災難の見舞は形式をやめて真心と実質で行ふこと。

5、以上の御見舞に対するお返しは全廃すること。

日常生活に努めて文化を取り入れ楽しい生活を致しませう。

第四 衣生活の改善方法

- 1、働き易い衛生的な衣服を工夫すること。
 - 2、衣類の更生活用に努めること。
 - 3、寝具の清潔に努めること。
- 食生活の改善方法
- 1、食事は美食よりも栄養を工夫すること
 - 2、食器、食品の清潔に努めること
- 住宅の改善方法

(10)

- 1、家屋とその周囲(下水産溜場)は清潔にすること
- 2、明るく清潔で便利な場所を便所にすること
- 3、柱みよい居間を工夫すること

その他

- 1、病気の素人判断はやめること
- 2、食物は衛生的な店で買うこと
- 3、伝染病の媒介をする鼠類と昆虫(はい、のみ、しらみ、蚊等)を徹底的に駆除すること

第五 勤儉貯蓄に努めましょう。

- 1、家庭生活の合理化を計つて貯蓄すること
 - 2、家計簿を記する習慣をつけ努めて支出を抑えて余裕を残す様にする。
 - 3、結婚 出生、その他あらゆる御祝事の出費を節約して記念貯蓄をなし将来に備えること
- 第六 祝日には忘れずに国旗を掲げませう。

新生活運動とは

健康で文化的な生活を営むことの出来る社会をみんなで作つくる運動です

私達のお互の幸福を目指して

時間やお金の上手なきりまわし

形式にとらわれず心をこめたつき合い
重荷にならない祝儀
助け合いの出来る嫁姑

明るく働き易い台所
健康を保つ衣服と食事
丈夫で働ける体

日の当る心地よい居間
不平のない楽しい生活
明るい政治 公民館の活動
敬儀の向上 部落民の協力
家族の協力 愛情の結びつき

お互に心がけましょう。
お互の話し合い

1、毎日の生活が納得のゆく様に心を聞いて話し合ひませう。

2 感謝の気持を常にもちたいものです。

3 自分の生活を人の迷惑にならぬ様に心がけましょう。

4 人の為に喜んで助ける心を持ちたいものです。

5 個人の生活に関して細かい批判は止めませう。



保健婦だより

離乳について

1、離乳と言ふは、乳を離すことではなく、だんく／＼高才準備することです。乳と言ふ食事は安静にして居る時の食料で、六七ヶ月になり体のある程度自由に動かすので、栄養分殊に鉉物質の不足を見る様になるのでそれを補ふためには栄養素を、乳以外のものより攝取しなければならぬ。

2、精神的の發育にも、その頃になると、いろいろの物が必要になつてくるのです。これを離乳期と言ふのです。

二 高乳期の食物にはどんなものがよいでしょうか。

七ハケ月、重湯、くず湯、蒸い味噌汁、果物、野菜（大根、トマト等）のしぼり汁、半熟の卵、ウエプス、九ヶ月、苳粥、半熟卵、食パン、南瓜、羊類のうらこし、豆腐、麩、人参、カブ大根の軟かい煮しめ、カルマキ、

誕生頃、軟かい御飯、煮込うどん、軽い煮魚、野菜類の軟かい煮しめ

三 離乳の要領

- 1、腸にだんく馴れさせる
- 2、調理に出来るだけ細かくして消化しい、様にしませう。
- 3、食ばさせる物は良く火を通して食ばさせる。
- 4、腸になれたら、だんく／＼量をふやして行く様に、して一度に多さんやらない様にしませう。

人事消息

（八月分） 戸籍係

出生の部

出生月日	氏名	大字	父	母	続柄
八一	酒井久雄	上境	義一	みつ	長男
八一四	本橋和子	中根	政尚	こと	二女
八一六	酒井孝	土屋	都雄	よし子	二男
八一八	高橋光夫	横町	常雄	てる	長男
八一	黒田高司	金田	三代司	久子	長男
八一	増山光男	金田	弘	さよ	長男
八一〇	中島芳江	吉瀬	二三雄	ユキ子	長男

死亡の部

死亡月日	氏名	年令	大字	筆頭者との続柄
八一三	大久保彦作	八四	大	本人
八一四	岩瀬まさ	七三	金田	仲の養母
八一六	増山光男	五未滿	金田	さよの長男
八一九	豊島せん	六九	古末	孝子の母

婚姻の部

大字	氏名	配偶者氏名	備考
上境	酒井衛	野沢利子	筑波郡大穂村玉取より

養子縁組の部

大字	氏名	養父	養母	実父	実母	備考
土屋	平島稔男	小林徳富	しま	平島武雄	しま	東京都中央区池町

昭和三年 自八月 戸籍取扱件数表

種目	本籍入受付	本籍送付	非本籍入戸籍編製数
出生	二六件	一六件	八件
死亡	二一	四	二
婚姻	一六	二一	一五
協議離婚		三	一
養子縁組	一	一	一

種目

種目	本籍入受理	本籍入送付	非本籍入戸籍編製数
養子縁組	一件	一件	
復氏	一件		
姻族関係等	一	三件	
入籍		一	
分籍	一	一	
転籍	一	一	
家督相続	一		一件
合計	六九件	五一件	一一件

慰霊祭と映画会

商工会

講和條約の成立を機会に平和の礎石となられた戦歿勇士の慰霊祭を挙行し、今はなき英霊の冥福を祈り新たな感謝を捧げると共に、御遺族並未帰還者家族の皆様をお招きして、慰霊祭に引続き、映画会を催しました。御遺族並に各種団体関係者村有志各位約二百名の御参集を得て、一日意義深い催が行はれました。

- 一、日時会場 九月十三日午前九時 於 公民館
- 一、朝日新聞社映画 講和條約特輯ニュース及漫画



インタービュー

友未県知事夫人

農青連

農青連でわ、七月十二日小雨煙る水戸の公舎に知事夫妻を訪れ、**特産トマトの御試食を願ふため** 盟友持寄りの特送を贈呈致しました。

折悪しく知事さんは東京へ公に出張で留守でしたが、幸夫人が在宅だったので親しく接することが出来ました。内助の功一しほあつき夫人と豪華な応接室で一時間程（この間昼の物々しい饗應に預る）歓談致しました。夫人は軽いサツパリした洋装（うす赤格子のブラウス、ネツミ色のスカート）で気軽に打とけ乍ら、終始微笑を以つて巧に話題を変えては、初対面の私達を多少の窮屈さも感じさせなかつた。さすがは知事夫人との風を察くしたのは、あながち筆者一人のみではありま

すまい。
一般家庭の主婦の如く、坦々たる物腰のうちにも、**聡明な理智の閃きを見せつゝ、特に夫人が強調要望されました**ことを要約すれば……

先づオ一に健康、金を貯えること、勿論結構だが食べる物も食べずに貯金するよりも、健全なる身体を維持するための栄養を攝つて頂きたい。身体さえ丈夫であれば、金は此の世の廻りもの、物けば切いただけお金も貯まります。特に農村では「栄養食」と言ふ觀念に乏しい。栄養を攝れと言えば直ぐに肉、刺身等高値なものと思ひ込んで居る。一例をあげれば、高値な鰯よりも、安い鰯の方が栄養価値は大きい。鶏卵も安い時には、一つでも喰わずに売ると言ふよりわ、魚を買ふよりは？ と卵を利用する。こんな風に先ず身体のためには、量を多く食べるよりは、少量でもカロリーの高い安価な鰯等をどんどん食べる様にしたいのです。とりわけ、農村の婦人は労働が過重である。暗いから暗い迄続ける肉体労働の生活に、科学性を取り入れ、栄養主義に、食生活の改善をされる様、それと共に数える程しかない外出なのに、外出用の着物を（持参全部を十〇とする）その八割までが外出着）幾揃えも軍需へ死蔵せずに、その半分でも良いから、作業用の衣類を買ふ様に心掛けて頂き度い。つまり生活の簡素化、と言ふ事をくり返り返しく、要望されまし

（14） た。次いで、農村婦人の労働過重を幾分なりとも軽減するためには是非とも、畜力の利用、お台所の改善を実行して頂き度いと言われました。

納屋や倉庫は木の香も新しくとんく、つくつてゐるがさて家の中へ入つて見ると、昔のま、のお台所（年寄は俺アこ、でこの年までやつて来たと言ふかもしれ

ない、お膳や何かを取るにも一々這ひ上つて取らねばならない不合理さ。
こんな所が大部分の現在。一年でがらりと変えるとはまではゆかなくても、せめて大間に一基の食卓があつたら野良から帰つて来て土足のまま、土間の椅子に掛けて普通の食事用具が手に取れる様、一寸した買物用の小金等も、戸棚の抽出が何んかへしまつておく位に、漸次計画的に改善されますよう。女として一生離れたないお台所の改善にゆつとく、細心の注意と最大の工夫を計り幾分なりとも婦人の負担を軽減するやう心してほしいとの事でした。それと同時に、農村婦人の地位の向上、と言ふやうな事ゆ、吾々若き青年に望まれた。男女同権と言ひましても、まだまだ農村に於ては、特に封建的色彩が根強いやうです。

年寄の人に今急ぎ改めろと言ふ事も無駄で、すぐには改まるものではない。

若い今の世代の人は解つてゐるでせうが、解つて居ない年寄りと言ふ丈無駄ですと簡単に決めてしまはずに、事ある毎に氣長にくり返しく、説得すれば少しづつでも改められるのではないのでしょうか

財布をそっくり妻に預ける位の裁量が欲しい、妻に絶対の信頼と愛情を夫たる男子は持ち続けて頂き度いと強いて望まれました。

次ぎに宮本委員長が「先般米村せられた時の御感想を」との質問に夫人は、村に入つて見て、ころ何となく明るい感じがしましたと秩序正しく次から次へと事業面にして高度の企画性がある様に見受けられました。田畑を見ても作付に無駄がなく全面的に利用活用されている。一口に言つて他の村と違ふ。何んとなく企画性のある村と言ふ感じを抱かれたそうです。

トマトを始め、各種蔬菜作りゆ仲々の造詣が深く見受けられる夫人は、最後に、米村は東京に近いと言ふ地の利をほめてゐる。土地も適してゐる。すべての條件が揃つて居る。

青年会便り



名月会開催（文化部家庭部主催）

九月十五日（旧十五夜）公民館ホールにて会員約六〇名が出席情緒豊かな名月会が催された。

午後七時より、会長米濱の挨拶があり、八時よりレコード観賞に移った。正面に供えられた七草のすゝきは明るい照明にそれとなく静かにゆれて居た。

短歌の朗詠 朗詠は一しお雨の夜のホールに静寂をそい、うら若き男女の心に、あわい詩情が溶け込んで行く。続いて俳句の朗詠が終ると心ばかりの益がまわされた。いよくかくし芸大会に移り米濱の熱演に続いて会員は交々熱演した。特に楽団みどりの演奏は会場を華やかな夢に包んだ。ラクンパールシタータの演奏を最後に月の無い観月会乍ら一入おむむさの深き名月会を閉じた。

来賓者氏名 大久保月夜氏、根本養三氏、永田晋雪氏、猪俣寅吉氏
名月会短歌詠草 兼題「月」 頼不同

農業特産地として生きるためには、農牧組を中心にして、農圃な団結により、共同送果、出荷の万全を期すると共にその特性を生かしその長所を伸ばして明るい平和な文化村を建設し、生産面に於ても技術面に於ても、坂郡に県下の模範モデル村となる様、名前がひびくは一村三村と言ふ風に他村め之にならう。やがては平和茨城の礎の一端ともなりひいては平和日本の建設の一序と言ふことにもなる。尚一層の努力をと強く要望されました。

特に米村のトマト、白菜に大きな希望と信頼とを持つて居ます。しつかりがんばつて下さいと励まされた。黄金の波豊かにゆれる中に織なす縁の白菜畑、その壮观を是非一度拝見したいと申して居りました。米客ある由に暇ををした私達一同をわざと玄關まで丁寧に送つてくれた夫人に敬愛の念を抱き、幸なれかしとこゝろに念じ乍ら、そは降る雨の巷へさようならの別れをつげた
(豊島松雄記)

念には念 白菜の害虫は発生前に予防しましょう
茶刺撤布は丁寧に行ひましょう
をいれよ 発生したら毛ゴのうちに退治しましょう

妹と庭でいさかふ兄の声月の朧を否定し鏡く

飯島 幸之助

娘子の来りて共に銀洗ふ波紋にゆれて白い夕月

酒井 茂

冷たい悲哀が又俺を泣かせた池の真中の青白い月

酒井 茂

子はゆきて月の世界に居ますとか思ひ新たに涙こぼる、

永田 晋雪

持望の満和修約締結しこの月こそは記念する月

永田 晋雪

彼の月のもれ来るあたりせ、らざとたががすのなる虫の声のみ

中西かね子

憂き世をばかくまで澄める光もて照らす月こそうらやましけれ

中西かね子

ようやくに曇は退きてすぢ雲のうすくに飛べる月の影かな

永田 うた子

見はるかす稲田の上に月出でて今宵静しくしはしたゝすむ

永田 うた子

北の國おびやかさるか名月よ白き光に蒔なき哉

飯島 峯雪

その時は何んとするかな名月よ民主武装でこの國守れ
飯島 峯雪

月の光今が極まる天地の死にけむ如き静けさに泣け
大久保 月夜

名月会俳句詠草 兼題「月」

雲暗れて今宵愉しき月見かな 大久保 照子

月出でて雲の彩り刻々と 酒井 雪化

月に祈る天下安泰あらむこと 飯島 峯雪

音がばと魚紋ひろがり月砕け 酒井 雪花

名月や野天の風呂の中にあり 松本 島子

寂としてす、きの原の雨月かな大久保 照子

名月や昔も今も世に 飯島 峯雪

満月は雲にしばらく隠ざされる大久保 照子

月光に冷くぬる、筑波峯 中西かね子

草むらの一きわゆる、虫の声 中西かね子

秋雨米て身にしみ通る寒さあり中西かね子

彼の丘の光のゆとにそよぐ草中西かね子

おみなえしゆらぐと裾にたわむれり 中西かね子

海の音ありて月牙ゆ浜の家 永田 晋雪
庭の外に月下の美人髻髻と 永田 晋雪

栄村勢の概要 其三

農業

地味は肥沃にして 廿五年度蔬菜生産高次の通り

種別	面積	貫数	金額
トマト	一〇一、五〇〇メ		六五四五〇〇〇円
白菜	五〇町五四五〇〇メ		一、五七九〇、〇〇〇円
葱	一二町	五五三〇〇メ	一四〇〇、〇〇〇円
牛蒡	六町	三五〇〇〇メ	一八四〇、〇〇〇円
甘藍	一町二	一二、〇〇〇メ	
速成 キウリ		五四〇〇メ	五四〇〇、〇〇〇円

農家戸数四八四戸

自作農	一八四戸
自作兼小作	一九八戸
小作兼小作	七三戸
小作農	二九戸

五反未満	八二戸
五反一町未満	一一七戸
一町一六町五反	一四八戸
一町五反一町二町	一〇三戸
二町一三町	三三戸
三町一五町	一戸

昭和二十五年皮作付面積表

品種別	作付面積	生産量(米石)	反収量(米石)
水稻	二四六町五	五六二八石	二、二八二石
陸稻	二町九	四三石	一、四八二石
大麥	九二町五	一四一五石	一、五二九石
小麥	四三町一	六三一石	一、四六三石
雜穀類	七四町六	五七四石	〇、七六九石

昭和二十五年皮供出状況(米石)

種別	供出割当	供出実数	比率 %
水稻	三、一二九石	三、三三八石	一〇三、四%
陸稻	二九石	三八石	一三、一〇%
雜穀	四〇一石	三、一三石	七、八〇%
計	三、五五九石	三、五八九石	一〇〇、九%
大麥	八七二石	八七二石	九二、五%
小麥	三七三石	四六九石	一二、五七%
計	一、二四三石	一、二七五石	一〇二、四%

畜産 昭和二十五年十月一日調査

区分	乳牛	役牛	馬	豚
飼養戸数	四	一六一	一二	四七
飼養頭数	七	一六三	一二	五四

其他

名稱	戸数	数量
養蚕	六四戸	一〇一七メ
果樹園	一七戸	一町六反
桑園	七六戸	一四町
煙草	五三戸	三町七反五畝一〇

土地改良事業 (昭和二十五年)

土地改良委員会 予算 八三三五三二円(用水事業)

部落名	井戸数	金額	受益面積
上境	六ヶ所	三五二、六〇三	
土畷屋			
横町	三ヶ所	二二〇、六八〇	
金田			
古米	三ヶ所	二五七、三五〇	一二町

道路改良事業

道路改良委員会 予算四〇〇、八五二円

古米新道開設費 三三一、六三三円 延長四四三米
幅員四米 外局所改良補修 (村勢概要完)

おことはり

紙面の都合で、季節に關係のない原稿は後廻しにしました。不意知了承下さ

電話

村から家庭へ——
家庭から村へ——

◇ 水稻実態調査実施——九月十七日、農業委員及生産組合長によつて組織された水稻実態調査班に依る標準地検見の結果、左記の如く、収量見込高の村平均が算出された。

上 二四九六石 中 二三一〇石 下 二、〇一〇石
◇ 早場米供出割当——本村に割当られた早場米の収量は二期分(十月一日より十月十五日まで)

一一二表 才三期分(十月十六日より十月三十一日まで) 二四七俵 合計三五九俵である。奨励金は、才二期が石当り四百円(一俵一六〇円)第三期分が石当り百五〇円(一俵六〇円)である。部落生産組合を通じて各個人に割当される事になつてゐるから、手続、供出等に遺憾のないやうお願い致します。

◇ 農林水産統計調査員——本年度に於ける各調査区担当員の区名は左の通りである。

第一区(上境) 酒井助十郎 第二区(中根) 室町孝本橋三千男 第三区(土畷屋) 米極要蔵 飯島秋之助

第四区(松塚) 沼尻淨 第五区(大上) 大山重右衛門
 第六区(大下) 酒井重利 第七区(横町) 沼尻善一郎
 第八区(金田) 市村延好 第九区(西坪) 諸井房次郎
 第十区(古米) 豊島正雄 第十一区(吉瀬) 五頭武男

◇ 公民館図書館完成——村民の皆様の御協力に依り、図書館が一応出来上りました。書籍部数約七百五十冊 図書室及閲覧室の設備も完成致しましたから、近日中に開館の運びとなります。何卒御利用下さい。

◇ 感謝状贈呈——公民館のステージを飾るために、左記三者より水引、引幕が寄贈されましたので、その特志に応へて去る文化祭の日に、それぞれ感謝状が贈られました。

引幕 酒井浩殿 水引 農業協同組合殿 商工会殿

◇ 視察団——九月二十一日東茨城郡飯富村より村長外廿三名、九月廿三日鉈城郡豊加美村より十数名、瓦会村より青年数名、園部村より九名、九月二十六日久慈郡幸久村より三十名、それぞれ視察のため来村

◇ 陳情及講習——飯島村長は、十月二日牛久沼上下流土地改良期成同盟会の陳情のため上京、又十月三日より群馬県新治村に全関東公民館講習会へ出席

◇ みのり定期市抽籤番号——去る九月廿五日公民館に於て行なはれた抽籤会の結果左記の通り各等の幸運番号がさまりました。お手元の証書番号と引き合せの上、どうぞ早めに賞金を受取つて下さい。

一等(千円) 一二七八番・二等(四百円) 一三〇五番
 三等(百円) 一三八〇番 一三八三番
 四等(五十円) 一〇四八番 一一四八番 一二四八番
 一三四八番 一四四八番 一〇〇六番 一一〇六番
 一二〇六番 一三〇六番 一四〇六番 一〇七一番
 一一七一番、一二七一番 一三七一番 一四七一番
 一〇〇〇番 一一〇〇番 一二〇〇番 一三〇〇番
 一四〇〇番 五等(二十円) 残り全部 各組共通

◇ 村議会授議会——九月九日 村議会協議会が開かれて、中根 松塚に於ける水利施設に対する村補助金並土器屋ガソリンポンプ修理に対する助成の件につき協議が行はれた。

◇ 文化祭記事集録——去る九月廿三日の文化祭の記事は、十一月号に特欄として掲載する予定ですが、各行事の担当者は、つとめて早く記録を取り纏めて、弘報委員会へ提出して下さい。何卒御協力下さい。

米村子供会の歌

みんなあつまる

作詞 楮候 三郎

一、みんなあつまろ子供会
 僕わわたしめにここに
 お手々た、いてみな賛成
 さまを守るよい子です
 さかえ、さかえ

二、今日は奉仕の仕事です
 みんなはいつしよでたのしいな
 筑波のお山もわらつてる
 ごくろうさんといつてます
 さかえ、さかえ

三、鎮守の森の御神木
 遊ぶみんなを見えています。
 おかえりなさいといつてます
 さよならあしたまたあした
 さかえ さかえ
 米の子供はよい子供

米村子供会の歌

昇る朝日

作詞 近藤 久也

一、昇る朝日は僕らの象徴
 起て 起て
 光をあげて健やかに
 僕ら子供の意気ゆつて
 のびよ さかえよ

二、さかえの子供会
 さかえの子供会

三、口う黒土みどりの里を
 行け 行け
 大気をすつてほがらかに
 ぼくわわたしも肩くんで
 のびよ さかえよ
 さかえの子供会

三、空は青空子供の世界
 見よ 見よ
 平和の旗ゆへんぼんと
 愛の光のさすところ
 のびよ さかえよ
 さかえの子供会

平和の鐘

作詩 赤塚世意子

一、平和のかねに夜はあけて
 栄える村よ栄村
 生いたつ僕達私達
 小さい力をより合わせ
 みんな明るくニコニコと
 学びにはげむ子供会
 緑の里を霞浦の風
 二、
 そよそよそよと吹いてくる
 奉仕にいそぐ僕たちの
 黒い瞳に笑みかける。
 共に歌おう働かおう
 栄える村の子供会
 三、
 筑波の峯の夕霞
 静かに消える鐘の音に
 つといの友と手をとつて
 祈る心の清らかさ
 今日のとめを共に
 果して楽しい子供会

四季の栄村

作詩 沼尻亮重郎

一、朝日の台に春が来て
 花がさきますちらほらと
 かわい、小鳥ゆたのしそに
 みんな元気ですうたいます。
 二、
 すがたみさまの滝ひびく
 夏はすずしい丘の上
 風がそよそよ野に畑に
 夜はほたるがとんでます
 三、
 筑波が見える秋はれの
 空にやいつはい赤とんぼ
 たんぼは稲かりそのそばで
 よいこは子守りをしています
 四、
 都の人が待つている
 雪より白いはくさいを
 山ほどつんだトラックが
 ひつきりなしにでています。

そよそよ春風

作詞 大久保月夜

一、そよそよ春風白い窓
 ピアノが静かに聞えます
 朝の体操 一二三
 みんなで勉強うれしいな
 さかえ、さかえ、栄の子
 みんなは国の子、栄の子
 二、
 さらにさら小川はうす霞
 小鳥がやさしく呼んでます
 今日の日曜奉仕です
 みんなでお仕事たのしいな
 さかえ、さかえ、栄の子
 みんなは村の子、栄の子
 三、
 ひらひら日の丸青い空
 筑波のお山がはれてます
 赤勝て白勝てよういドン
 みんなで下ツゆかいだな
 さかえ、さかえ、栄の子
 みんなは強い子、栄の子

『編輯後記』

「みのりの秋」と言ふ言葉以上の豊作に恵まれて愉快な收穫の月となりました。

弘報「さかえ」は、皆様の御協力によりまして、本月で丁度十二号です。来月は創刊一週年紀念号として文化祭の記事を主体にして、祝福の特輯をする計画で居ります。第二年目の飛躍のため、各位の熱意と御助力を期待して止みません。

純潔なお子様方のために、栄村子供会の歌をどうぞ大人の方も歌ってやつて下さい。美しい童心に帰つてこそはじめて子供達の世界に導いてやれるのです。

『さかえ』 第十二号

昭和廿五年十一月三日 創刊

昭和廿六年十月一日 印刷

昭和廿六年十月五日 発行

編輯人 栄村公民館弘報委員会

〒福中市城町九十九

印刷人 かすみ 膳亭堂

発行人 栄村公民館長飯島吉亮

SAKAENO 10

新沼郡

栄村公民館

春申 蔵書